2027年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年７月31日

上 場 会 社 名	川崎設備工業株式会社	上場取引所	名
コ ー ド 番 号	1777	URL	https://www.kawasaki-sk.co.jp/
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	廣江　勝志
問合せ先責任者	（役職名） 経営企画本部副本部長	（氏名）	三輪　敬　　(TEL) 052-221-7700
配当支払開始予定日	―		

決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第１四半期の業績（2026年４月１日～2026年６月30日）

（１）経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期第１四半期	8,043	△11.2	1,224	△14.0	1,238	△14.0	840	△15.4
2026年３月期第１四半期	9,058	96.2	1,423	841.5	1,439	806.7	993	871.7

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期第１四半期	70.23	―
2026年３月期第１四半期	83.03	―

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期第１四半期	24,924	16,436	65.9
2026年３月期	26,424	16,403	62.1

（参考）　自己資本　2027年３月期第１四半期　16,436百万円　2026年３月期　16,403百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	25.00	―	70.00	95.00
2027年３月期	―				
2027年３月期(予想)		45.00	―	50.00	95.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無
2026年３月期年間配当金の内訳　普通配当　50円00銭　特別配当　45円00銭

３．2027年３月期の業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期(累計)	20,500	13.6	2,700	10.2	2,714	9.8	1,840	8.1	153.79
通期	39,000	3.6	5,000	1.9	5,060	1.5	3,447	△6.5	288.11

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

（注）詳細は、添付資料Ｐ．６「四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期１Ｑ	12,000,000株	2026年３月期	12,000,000株
②　期末自己株式数	2027年３月期１Ｑ	35,861株	2026年３月期	35,861株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2027年３月期１Ｑ	11,964,139株	2026年３月期１Ｑ	11,964,162株

※　添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．四半期財務諸表及び主な注記 …… 3
（１）四半期貸借対照表 …… 3
（２）四半期損益計算書 …… 5
第１四半期累計期間 …… 5
（３）四半期財務諸表に関する注記事項 …… 6
（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 6
（セグメント情報等の注記） …… 6
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 6
（継続企業の前提に関する注記） …… 6
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期累計期間におけるわが国経済は、中東情勢や緊張が続く日中関係により、依然として不透明な状況にある中、国内においては原油価格の高騰に伴う物価上昇が続いているものの、企業による賃上げの高水準な継続や実質所得の増加により、個人消費が底堅く推移するなど景気の好循環が維持されております。

建設業界においては、公共設備投資は堅調に推移し、民間設備投資は総じて好調な企業収益を背景に投資意欲は旺盛であり、老朽化した建築物の設備更新需要は堅調な動きを保っております。また、ＡＩ・半導体分野での需要を背景とした設備投資計画は拡大傾向であります。一方で、恒常化している人手不足や建設資材価格の高騰、さらには原油由来の資材不足に伴う工事進捗の遅れなど引き続き注視が必要です。

このような経済状況下において、当社は「2026年度(第100期)経営計画」に基づき、現場技術部員をはじめとする慢性的な人材不足の解消やＩＴ・ＤＸ推進による同業他社への優位性確保を念頭に、以下の5つの柱で取組みを進めてまいりました。

１．「安全・品質・コンプライアンス」－基本ルールの徹底遵守－
２．「営業」－長期安定的な営業戦略の展開－
３．「施工」－施工品質管理と原価管理の強化による稼ぐ力の底上げ－
４．「経営基盤」－経営基盤を次のステージへ－
５．「職場環境の充実」－100年企業を目指して－

その結果、当第１四半期累計期間の業績におきましては、以下のとおりとなりました。

受注高	229億12百万円	(前年同期比	63.2%増)
完成工事高	80億43百万円	(前年同期比	11.2%減)
営業利益	12億24百万円	(前年同期比	14.0%減)
経常利益	12億38百万円	(前年同期比	14.0%減)
四半期純利益	８億40百万円	(前年同期比	15.4%減)

（２）財政状態に関する説明

当第１四半期会計期間の資産合計は、前事業年度末に比べ14億99百万円減少し、249億24百万円となりました。主な減少理由は、完成工事未収入金等が減少したことによるものであります。

負債合計は、前事業年度末に比べ15億32百万円減少し、84億88百万円となりました。主な減少理由は、工事未払金等が減少したことによるものであります。

純資産合計は、前事業年度末に比べ32百万円増加し、164億36百万円となりました。主な増加理由は、四半期純利益の計上によるものであります。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の業績予想につきましては、2026年４月28日の決算発表時に公表しました業績予想に変更はありません。

２．四半期財務諸表及び主な注記

（１）四半期貸借対照表

（単位：百万円）

	前事業年度 (2026年３月31日)	当第１四半期会計期間 (2026年６月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	2,954	4,929
電子記録債権	2,306	2,281
完成工事未収入金	14,770	11,778
未成工事支出金	292	306
その他	913	408
貸倒引当金	△185	△149
流動資産合計	21,052	19,553
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,671	1,652
土地	1,938	1,938
その他（純額）	141	162
有形固定資産合計	3,751	3,754
無形固定資産	243	208
投資その他の資産		
その他	1,470	1,501
貸倒引当金	△92	△92
投資その他の資産合計	1,377	1,408
固定資産合計	5,372	5,371
資産合計	26,424	24,924

（単位：百万円）

	前事業年度 (2026年３月31日)	当第１四半期会計期間 (2026年６月30日)
負債の部		
流動負債		
工事未払金	4,059	3,491
未払法人税等	1,017	407
未成工事受入金	1,273	1,261
賞与引当金	974	305
役員賞与引当金	36	－
完成工事補償引当金	37	33
工事損失引当金	1	－
その他	1,427	1,819
流動負債合計	8,828	7,319
固定負債		
退職給付引当金	1,037	1,029
資産除去債務	1	1
その他	153	138
固定負債合計	1,193	1,169
負債合計	10,021	8,488
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,581	1,581
資本剰余金	395	395
利益剰余金	14,163	14,166
自己株式	△7	△7
株主資本合計	16,131	16,134
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	271	301
評価・換算差額等合計	271	301
純資産合計	16,403	16,436
負債純資産合計	26,424	24,924

（２）四半期損益計算書

第１四半期累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期累計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年６月30日）	当第１四半期累計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年６月30日）
完成工事高	9,058	8,043
完成工事原価	7,030	6,086
完成工事総利益	2,027	1,956
販売費及び一般管理費	604	732
営業利益	1,423	1,224
営業外収益		
受取配当金	5	6
不動産賃貸料	9	9
その他	8	4
営業外収益合計	22	20
営業外費用		
支払利息	0	0
不動産賃貸費用	3	4
株式管理費用	2	1
その他	0	0
営業外費用合計	7	6
経常利益	1,439	1,238
税引前四半期純利益	1,439	1,238
法人税等	445	398
四半期純利益	993	840

（３）四半期財務諸表に関する注記事項

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用の計算

税金費用については、当第１四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等の注記）

前第１四半期累計期間(自　2025年４月１日　至　2025年６月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額(注1)	四半期損益計算書計上額(注2)
	東部	中部	西部	小計		
完成工事高	2,692	4,150	2,215	9,058	―	9,058
セグメント利益	474	888	334	1,697	△274	1,423

(注)1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用(一般管理費)であります。
2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第１四半期累計期間(自　2026年４月１日　至　2026年６月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額(注1)	四半期損益計算書計上額(注2)
	東部	中部	西部	小計		
完成工事高	2,706	3,855	1,481	8,043	―	8,043
セグメント利益	490	784	290	1,565	△341	1,224

(注)1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用(一般管理費)であります。
2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当第１四半期累計期間（自　2026年４月１日　至　2026年６月30日）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

当第１四半期累計期間（自　2026年４月１日　至　2026年６月30日）

該当事項はありません。

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第１四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第１四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第１四半期累計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年６月30日）	当第１四半期累計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年６月30日）
減価償却費	67百万円	67百万円